

らっきょうを特殊栽培して出来上がった葉付きの若どり品種です。
そのまま食べて酒の友によく似合います。

[特色]

らっきょうと同様に粗放栽培ができます。
しかし品質面では土寄せによる茎の軟白が
必要です。軟白部位は球部を含めて7cm
以上必要です。



1 作型

	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
耕害植		中追	土	土							
起虫付		耕肥	寄	寄							
施防け			せ	せ							
肥除											
									収	穫	

2 栽培手順

植付期 : 8月が適期であり、9月下旬が限界となります。

品 種 : らっきょうのラクダ種が一般的に適品種として栽培されています。
1 a 当り 40 kg 位の種子球が必要です。病虫害被害のないものを選ぶ
ことが必要です。

植 付 : 畝幅 55 ~ 60 cm、深さ 5 cm の植溝をつくり、株間 6 ~ 7 cm に種子
球の先がかくれない程度に植付けます。

管 理 : 植付け後 2 ヶ月ぐらいの 10 月上中に追肥をし、軽く土寄せを行いま
す。その後 1 ヶ月位に再度土寄せをします。この場合の土寄せは充分に
行い、土寄せをして茎部を軟白し、柔らかい葉付きで収穫出来るよう
にします。

施肥量 : 定植 1 週間前までに 1 a 当り完熟堆肥 100 kg、溶性磷肥 6 kg、隣加
安 4 2 号 6 kg を元肥として施用し、追肥は N K 化成で 3 kg を行います。

収 穫 : 3 ~ 6 月に収穫できますが、早春より間引きながら順次利用できます。

病虫害 : 無病の種球を使用すること。ネダニ、アブラムシ類の予防のために、
種球浸漬と植付時の粒剤施用を行うとよいです。

参考文献 : 神奈川の野菜、家庭菜園大百科